

2020年11月5日開会 (通算95回)

例会開催日は、木曜日です。

開会点鐘・歌の斉唱

君が代

四つのテスト

会長挨拶



こんにちは!

鬼丸さん、後ほど卓話を宜しくお願い致します。

"鬼"といえば、「鬼滅の刃」ですね。

世の中では、鬼滅の刃を見ていないといけないかのような感じになっておりますね。

私の子どもたちにも非常に人気があります。当然ハロウィンには鬼滅の刃の格好をしておりました。

私は本も読んだことがなく、どういうキャラクターなのかよく分かりませんでした。

本作品は少年ジャンプに掲載されており、すでに完結しております。人気絶頂期での完結だった為、数か月前に話題になったのをよく覚えております。

本作品がアニメ化され、アニメならではの綺麗な映像やスピード感があり、子どもに限らず、大人にも関心を向けられ、爆発的な人気となりました。

内容を簡単に説明すると、鬼に家族を殺されて唯一生き残った妹が鬼になってしまい、人間に戻る為に鬼と戦っていく物語です。

以前から話題になっていることは知っておりましたが、ここまで話題ならば見てみようと思い、自宅で第一話を見てみると、まあ!面白い!

アニメは全26話で、それを3日間であっという間に見てしまい一気に鬼滅ファンになったというわけです。

アニメは単行本の1~6巻について描かれているのですが、それ以降の7~8巻を、映画"無限列車編"で上映されております。

よく考えてみてください。全23巻ある内のアニメと映画併せて8巻までしか読んでないんですよ。

もうこの先が楽しみで楽しみで仕方ありません。単行本もアニメが終わった7巻から売れてるそうです。

月間単行本売り上げランキング1~23位まで全て鬼滅の刃だそうです。

本作品は、子どもが見るには少し残酷だと思うシーンが多々あります。例えば、鬼の首を切らないと鬼は死なないので鬼の首をスパスパ

切っていきます。その為11歳以下は親同伴でないと映画も見れないのですが、それだけ残酷なシーンがあるにも関わらず、批判されることがないそうです。アンパンマンでさえ、アンパンチでバイキンマンをやっつけることで、あれはおかしい!と批判されるそうですが、本作品はそのようなことが一切ないそうです。

ただ、それには理由があります。妹を助けたいという兄妹愛や、鬼になってしまった背景の中にも家族愛がメインで描かれている為、過激な描写があるにも関わらず子どもから大人まで愛され世間的に認められる作品になっているそうです。

今、"キメハラ"というものもあるそうで、「見た?見てないの?大丈夫?」などと見ていないと人格を否定されるようなこともあるみたいですが、敢えて言わせてください。是非見てください。非常に面白いです。

見終わったときには9巻以降への期待でワクワクがとまらなくなると思います。

以上、本日の四方山話でした。

また、今月はロータリー月間です。近藤委員長より色々発信していただこうと思っております。少しでも理解を深めていただけたらと思います。

それでは本日もどうぞよろしくお願い致します。

幹事報告

- 本日の例会は卓話時間延長に伴い終了時間を14時に変更しております。
 - 10/27(火)に職業奉仕委員長会議が開催されました。
 - 希望の風奨学金への支援をニコボックスから¥50,000致しました。
 - 地区ロータリー財団より10月24日の「世界ポリオデー」に併せて行うキャンペーンとして、マスクを作成し、ポリオ根絶運動に役立てるための寄付金を付与し販売することにした旨、連絡をいただき、本日よりニコボックスを頂いた方へ配布開始しております。
 - 先日PRにも来て頂きましたが、地区大会の登録が開始しました。改めてご案内連絡を致します。多くのご参加お願い致します。
 - 11/12(木)夜間にクラブ戦略計画委員会を開催致します。
 - 次回例会11/19(木)12:10~13:30@若宮の杜迎賓館1階「橘の間」卓話は「ファミリー企業、老舗企業の永続経営の支援」について「ビジネスモデル」×「組織マネジメント」×「マーケティング」が融合した経営課題の解決につとめている、(株)FBマネジメント 代表取締役社長 山田一步様にして頂く予定です。
- 例会前に第5回定例理事会も予定しております。

委員会報告

【出席委員会】

・出席率

(当日)

第95回例会(11/5)

31/46名 67.3%

(前回)

第94回例会(10/15)

当日出席率:29/46名 63%

修正出席率:46/46名 **100%**

※出席免除者除く

・ニコボックス

高橋勝之より

10月26日結婚12年目を向かえました。ありがとうございます。

鬼丸さん、本日宜しく申し上げます。

加藤謙一より

鬼丸さん、ありがとうございます。

良くん、第2子オメデトウ

野村治より

チビが8才になりました。
どんな人と結婚するのかな～
加藤かな、鈴木かな、高橋かな～
楽しみ～

牧野敬充より

山田カズキさん、例会楽しんでってください。

高木勝より

皆さんお元気ですか？

酒井俊皓より

マスク有難う。

山城徹也より

伊吹さん、今日は代役ありがとう。

浅野慎之、井上剛、奥村与幸、河村直樹、清訓芳、鈴木拓将、高木俊郎、田中吉彦、出口茂、永田聡子、不破直行、山邊信之より
第95回例会を祝して

【ロータリー情報委員会】

・ロータリーの友11月号おすすめページ

P6～「ロータリーの目的」

"意義のある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、"とあり、奉仕の理念が記載されております。我々も奉仕についてそろそろ考えるべきではないかと思っております。

P16～「インターアクター」

1つの方向性として紹介します。

5行目にある"持続可能な開発目標(SDGs)"について、皆さんご存知かと思えます。17の目標の中に貧困や飢餓、健康、福祉などがあがっております。

当クラブが何か奉仕活動をしようとしたとき、どこかで必ず結びつくかと思えます。当クラブの何かやりたいことについて、この目標を参考に考えてみてはいかがでしょうか。

・新会員の皆さんへのフォローについて

可能な限りご協力頂ければと思えます。

①例会時はカウンセラーが同テーブルに着席する。

→カウンセラーでなくても積極的に新会員の方へコミュニケーションをとって頂くようお願い致します。

②勉強会開催を検討中。

【会員増強委員会】

本日も皆様のお手元に【ご紹介候補者リスト】を配布させて頂きました。

現状、49名です。チャレンジ60まであと11名です。

どういう表現をしたら書きたくなるのか考えてみました。

最近疎遠になった方で「この人とちょっとランチしたいな。」と思った方を書いてみてください。月に2回、ランチしたい方と集まる会が60人になったらおもしろいなと思えます。ご協力よろしくお願い致します。

【広報委員会】

・マイロータリーについて

当年度に入り、マイロータリーのリニューアルがされました。

システム不具合などがあり、マイロータリーへの登録促進ができずにおりましたが、完全に改良されたみたいですので、これから、未登録の方へ個別に連絡を入れて、登録依頼をします。連絡を受け取られた方はご協力お願い致します。

・現在、コロナ禍により、例会をネット例会と並行して開催しております。

その為、HPの活用促進にもなると考え、ウィークリーもネット例会の内容をウィークリーのページにそのまま移行して掲載しております。

今後も内容を充実して取り組んでいきますので、スケジュールやクラブの動き、会員名簿等皆様に役立つ内容を掲載していきたいと思えますので、是非ご活用ください。



その他

卓話:支援の現場で学んだひと・チーム・世界の変え方

認定NPO法人テラ・ルネッサンス 理事長 鬼丸昌也 様



子ども兵とは、武器を持ち戦っている18歳未満の子供達で、世界に約25万人いるといわれており、私達は子ども兵問題に取り組むにあたって、2004年、子ども兵調査のため、当時、外務省の「退避勧告」対象地域であったウガンダ北部に向かった。そこでは、政府軍と「神の抵抗軍(武装勢力)」が戦闘を続けており、神の抵抗軍は23年間で、約3万6千人の子供を誘拐し兵士にしていた。

ウガンダ北部で出会った8人の子ども兵。その中の一人、16歳の彼は12歳で誘拐された。彼の初陣は、生まれ育った村を襲うこと。ここで、自らの母親を殺すよう命令される。当然のことながら母親の命を奪うことはできないので、代わりに鉋で母親の手を切断するように命じられ、泣く泣く切り落とすのである。このようなトラウマを植え付けられ、彼は二度と村に帰る事が出来なくなる。

子ども兵(その背景にある紛争)が増える理由に、私達先進国の暮らしと密接な関係がある。一例であげると、コンゴでは、レア・メタル(希少鉱物)などの資源をめぐる戦闘が続き、1万人を超える18歳未満の子供兵が存在する。そのような状況は、我々が日頃何気なく使っている携帯電話やパソコンなどの電子製品に含まれるレア・メタルが、この悲惨な状況を作り出しているとも言える。

ただし、先進国の日常生活の中に、紛争原因が存在するという事実は、僕らにささやかな「希望」をもたらしてくれる。なぜなら、その原因を変えれば生じる結果も変化するからだ。

2015年の国連サミットでは、世界の諸課題を解決するため、「世界を変えるための17の目標(SDGs:持続可能な開発目標)」を掲げ、2030年までの実現を目指すことに合意した。機関投資家はこのSDGsに対して、企業がどのように取り組んでいるかを国際的に注目するようになっている。もはや世界や地域の問題に取り組むのは、企業にとって社会貢献ではなく、投資家や消費者に選ばれるための最低条件になっている。

ところで、ウガンダでは、元子ども兵に対して職業訓練やカウンセリングを行ってきた。約1年半、テラ・ルネッサンスの施設で職業訓練、識字教育などを修了し、その後の1年半は、自らで事業計画を立案、起業する。自立を目的としているので、開業資金は我々が貸し付け、返済をしてもらう。開業当初は、わずか200円であった月収が、現在では7千円まで上昇した。ちなみにこの月給は、公務員並みの水準である。

話は変わるが、東日本大震災の際も、岩手県大槌町の女性被災者に対して、自立支援を行った。避難所にいる女性は、ふと気が付くと3.11の日のことを思い出し、非常に心が痛むとのことで、気を紛らわす意味でも仕事が必要であった。彼女達には洋裁や縫製の経験者多く、布巾やコースターを作ることで、スタッフ180名で3千万円の収入を得ることができた。

当初、我々は、東日本大震災の支援に関わるか悩んだ。人も金も限られている中、国内支援と海外支援の両立はできない。国内で災害が起きれば、我々を見捨てるのか?お前らは、やはり差別主義者なのかと思われ、今まで築き上げたものを全て失うのではないかと悩んでいた。

そんな時、ウガンダの職員から電話がかかってきた。ウガンダでも東日本大震災の津波の映像が放映されており、彼女は、これまで自分達を支援し続けてくれた日本人のために、何かしたいと思っているとのことだった。卒業した元子ども兵らと話し合い、わずか半日で5万円の寄付金を集めた。公務員平均月収7千円の国では大変な金額である。彼女は、「これで毛布を買ってあげて」と言った。そして最後に「同じ国に住むあなたたちは、何をやるの。」と聞いてきた。その言葉で、我々の迷いは吹っ切れ、被災地の方々のために出来る限りの事をしようという気持ちになった。

今後とも、私達は地域に根ざし、被災地支援をはじめ、国内外で人や地域に寄り添いながら細やかな活動をしてゆきたいと思います。本日は、有難うございました。